

## (1)保存地区の概要

地区名	塩尻市奈良井
種別	宿場町
面積	約17.6ヘクタール
選定年月日	昭和53年5月31日
特徴	<p>塩尻市奈良井伝統的建造物群保存地区は、中山道鳥居峠の麓にあり、宿場町として賑わった。</p> <p>町家の大部分は街道に並んで敷地間口いっぱいになり、二階部分を一階より張り出した「出梁造り」が多い。軒が深く、勾配の緩い屋根は、もともと石置板葺きであったが、今はほとんど鉄板葺きである。</p>



地区名	塩尻市木曾平沢
種別	漆工町
面積	約12.5ヘクタール
選定年月日	平成18年7月5日
特徴	<p>塩尻市木曾平沢伝統的建造物群保存地区は、江戸時代より日常什器を主とした漆器業で繁栄し、今なお日本有数の生産地として栄え、中山道沿いには漆器店が軒を連ねている。</p> <p>街路に面して主屋を建て、中庭を介して漆塗の作業場である塗蔵を配しており、漆器生産の町としての特色ある歴史的風致を今日に良く伝えている。</p>



## (2)保存地区のあゆみ

### 奈良井

- 昭和46年度(1971) 奈良井宿保存会設立

---

- 昭和49年度(1978) 奈良文化財研究所による町並調査  
(～51年度)

---

- 昭和53年度(1978) 「伝統的建造物群保存地区」選定

---

- 昭和63年度(1988) 電柱移設事業  
(～平成3年度)

---

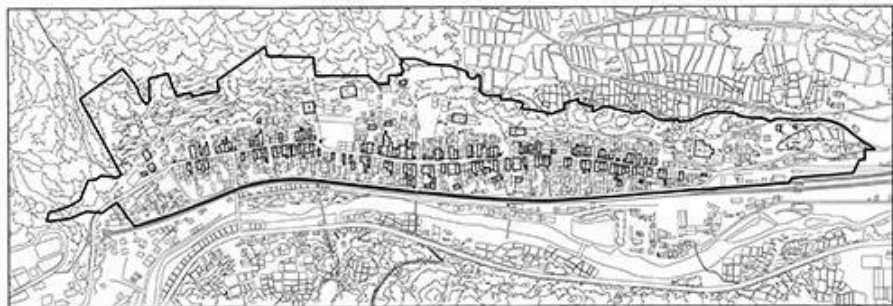
- 平成17年度(2005) 檜川村、塩尻市と合併

---

- 平成19年度(2007) 地区内の「手塚家住宅」が国の重要文化財  
に指定

---

- 平成23年度(2011) NHK連続テレビ小説「おひさま」放送  
(奈良井がロケ地として使われる)



### 木曾平沢

- 平成15年度(2003) 伝統的建造物群保存地区保存対策調査  
(～16年度)

---

- 平成17年度(2005) 檜川村、塩尻市と合併

---

- 平成18年度(2006) 「伝統的建造物群保存地区」選定

---

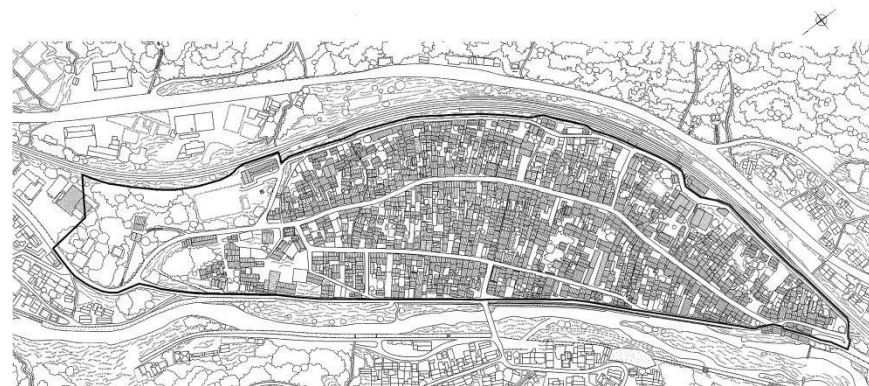
- 平成19年度(2007) 重伝建防災計画調査(～平成20年度)  
修理・修景事業開始

---

- 平成24年度(2012) 防災施設整備事業  
(～平成27年度)

---

- 平成28年度(2016) 重伝建選定10周年記念式典・  
記念講演会



## (3) 保存地区の保存と整備



修理前



修理後



修景前



修景後

奈良井(昭和53年度  
～令和元年度)

修理 256件  
修景 177件 計433件



修理前



修理後



修景前



修景後

木曾平沢(平成19年度  
～令和元年度)

修理 33件  
修景 23件 計56件

年度	修理	修景	合計
S53	16	5	21
S54	15	9	24
S55	20	12	32
S56	15	11	26
S57	18	10	28
S58	17	4	21
S59	18	5	23
S60	15	6	21
S61	15	4	19
S62	11	9	20
S63	9	4	13
H1	8	3	11
H2	8	7	15
H3	4	6	10
H4	4	5	9
H5	5	6	11
H6	4	8	12
H7	4	6	10
H8	2	9	11
H9	2	7	9
H10	4	7	11
H11	2	2	4
H12	2	2	4
H13	5	3	8
H14	3	4	7
H15	6	1	7
H16	2	3	5
H17	2	2	4
H18	1	3	4
H19より木曾平沢も修理修景がスタート			
H19	7	3	10
H20	3	3	6
H21	4	4	8
H22	3	4	7
H23	4	5	9
H24	6	2	8
H25	4	1	5
H26	4	0	4
H27	5	2	7
H28	4	3	7
H29	4	4	8
H30	2	2	4
R1	2	4	6



## (4) 保存地区の活用とまちづくり

- ・町並み保存活動と一体になった継続的なまちづくり活動
- ・伝建を活かしたまちづくり視察の増加
- ・観光地としてのマスコミ等の注目度の向上
- ・景観の取り組み等での大学との連携や学生の研究
- ・町並み景観を活かした新たな文化の創出



木曾漆器祭



「おひさま」撮影ロケ



奈良井夏祭り

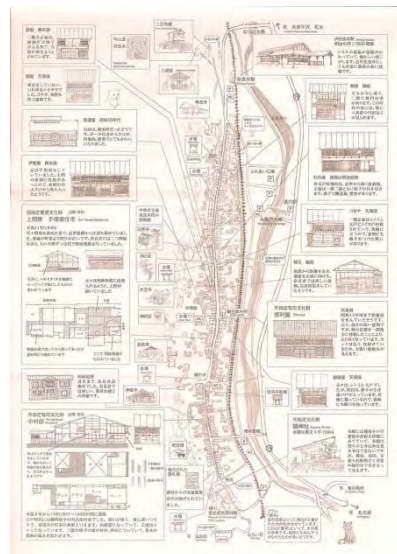


アイスクャンドル祭り



お茶壺道中

## (5) 住民等の取組



奈良井てくてくマップ



木曾平沢てくてくマップ

それぞれの保存会により、地区内の特性や見所、観光案内を紹介した手書きのマップを作成し、観光客等に無料で配布している。